

第3回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会

1. 開催日時 平成26年5月30日（金）午後3時～午後5時30分
2. 開催場所 豊橋市役所政策会議室（東館4階）
3. 出席者 委員8名（石原委員長、世羅副委員長、伊藤委員、大久保委員、
功刀委員、諏訪委員、富田委員、村松委員）
豊橋市11名（立岩総務部長、木和田行政課長、小林行政課主幹、
小林行政課長補佐、稲田政策企画課長、豊田シティプロモーション推進室長、齋藤シティプロモーション推進室長補佐、大川長寿介護課長、川島長寿介護課専門員、生駒健康増進課長補佐、大竹環境政策課長）
4. 欠席者 なし
5. 会議概要 以下のとおり

発言者	要 旨
事務局 (行政課長)	定刻となりましたので、ただ今から、第3回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。 開会にあたりまして総務部長の立岩より一言ご挨拶を申し上げます。
総務部長	<p>本日もご多忙の中、全委員に出席いただき誠にありがとうございます。先回の委員会の中で、書類評価の結果について、「要検討」の割合が年々高まっていることが取り上げられ、委員会としても危惧しているというご意見をいただきました。委員会終了後、早速、行財政改革プランの残りの期間で何ができるのかを今一度真剣に考えるよう全部局に対して依頼をしました。ちょうど本日が各部局からの回答期限となっており、皆様にお示しすることは叶いませんでしたが、公開プレゼンテーションの準備と並行しまして、着実に進めて行きたいと考えております。</p> <p>本日の議事は、先回の委員会で選定していただいた公開プレゼンテーションで取り上げるテーマについて、当日実際にプレゼンテーションを担当する課からの取組内容の説明と、議論の展開の仕方や論点などについてご意見を伺いたく存じます。何卒よろしく申し上げます。</p>
事務局 (行政課長)	それでは、ここからは石原委員長に進行をお願いしたいと思います。委員長、よろしく申し上げます。

発言者	要 旨
石原委員長	それでは、ただいまから議事に入ります。次第2にございます、「公開プレゼンテーションで取り上げるテーマの議論の展開及び論点の整理等について」、事務局より説明を願います。
事務局 (行政課主幹)	<p>お手元の資料1をご覧ください。部長のあいさつでも触れましたとおり、前回の委員会において、7月12日の公開プレゼンテーションで取り上げるテーマを選定していただきました。そこで今日は、4つのテーマのそれぞれの担当課に出席してもらっていますので、発表内容の骨子を直接説明してもらいます。</p> <p>最初は健康増進課です。健康増進課長補佐よりお願いします。</p>
健康増進 課長補佐	《健康増進課による『市民とともにつくる健康づくり』(以下「健康づくり」という。)の説明》
石原委員長	引き続き、長寿介護課より説明をお願いします。
長寿介護課 専門員	《長寿介護課より『ひとり暮らし世帯等への見守り及び買物支援などを行う高齢者生活サポート事業の拡充』(以下「高齢者生活支援」という。)について説明》
石原委員長	ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。
大久保委員	健康づくりについて、校区によって、健康度の高いところとそうでないところがある。効率的に市の健康づくりを推進するためには、健康度の低い校区に対して、参加してもらえるよう優先的に勧奨する必要がある。42自治会への勧奨に対し、15自治会が参加しているとのことだが、健康度の低い校区ほど参加に消極的というような相関関係があるのか伺いたい。
健康増進 課長補佐	ご指摘のとおり、当初は健康度の低い校区を優先的に勧奨しましたが、健康度が高い校区だから参加してくれる、低いから参加してくれないということはありませんでした。
諏訪委員	高齢者生活支援について、住民主導型での成功例があるか伺いたい。
長寿介護課 専門員	豊橋市内の地域でも住民自らが助け合うことを思い立ち、実際に行動しています。
功刀委員	高齢者安心生活サポーターの登録数が82名ということだ

発言者	要 旨
	が、登録者の年齢構成などについて伺いたい。
長寿介護課 専門員	40代から60代の方が中心となります。最近の小中高等学校の親御さんを中心に募集をしており、成果も徐々に出ております。
功刀委員	健康づくりにしても、高齢者生活支援にしても、「動ける人材」にアプローチすることが肝要であるが、誰をターゲットとしているのかが伝わってこないことから、本番はそこを明白にして説明して欲しい。
石原委員長	ご意見ありがとうございます。2課に説明していただきましたが、本番では1つのテーマとして扱う必要がありますので、「地域コミュニティによる健康づくりと地域包括ケア」というタイトルで準備を進めていただきたいと思います。また委員からの質問の量からも推察されるように、本番は高齢者生活支援の説明に重心が置かれるようお願いいたします。 続いて環境政策課より説明をお願いします。
環境政策課 長	《環境政策課より『ごみの減量化に向けた効果的な手法について』（以下「ごみの減量化」という。）について説明》
石原委員長	ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。
伊藤委員	ごみの減量化には、市がどれだけ危機感を持っているのか、またその危機感をどれだけ市民に訴えられるかが重要であると考える。本日の環境政策課長の説明もその点を踏まえての説明であったと思うが、本番ではさらに工夫して訴えてもらいたい。
功刀委員	愛知県内では安城市がごみの減量化に成功している。安城市は最終処分場が満杯で新たな建設が市内でできないことから、ごみの減量化が進まなければ有料化するという姿勢で臨んでおり、功を奏している。安城市の例からわかることは、「やるか、やらないか」を明確に示すことが大切だということである。明確に示すためには市民を巻き込んだ議論を十分に行う必要がある、そのあたりが弱いように感じる。環境政策課長の説明では危機感は伝わってくるが、どうすべきなのか整理ができていないように聞こえるので、本番は整理した上で臨んで欲しい。

発言者	要 旨
石原委員長	ありがとうございました。続いて政策企画課より説明をお願いします。
政策企画課長	《政策企画課より『東三河広域連合の活用について』（以下「広域連合」という。）説明》
石原委員長	ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。
村松委員	政策企画課長からの説明にもあったように、市民にはわかりにくいテーマである。逆に言えば、いかにわかりやすい説明をするかが、本番では重要になる。例えば穂の国森づくりの会のような市民が行っている取組を例に挙げながら説明すると、身近に感じられてよいと思う。
諏訪委員	個人的にも広域連合に対して非常に興味を持っている。本番も広域連合の目的について、市民に明快に、明確に説明してもらいたい。
石原委員長	ありがとうございました。広域連合については、ファシリティマネジメントと合わせて取り上げることとしておりますが、事務局と政策企画課長の説明にもありましたとおり、広域連合におけるファシリティマネジメントについての議論は現時点では全くされていないことから、主はあくまで広域連合とし、広域連合発足後の活用策の一つとして本番での議論の中で触れていくようにしたいと思います。続いてシティプロモーション推進室より説明をお願いします。
シティプロモーション推進室長	《シティプロモーション推進室より『市民参加によるシティプロモーションのあり方について』（以下「C P」という。）説明》
石原委員長	ありがとうございました。ただ今の説明についてご意見・ご質問を伺いますが、最初に私から質問します。豊橋市が意図する「シティプロモーション」とは何ですか。
シティプロモーション推進室長	豊橋市民に豊橋を再発見してもらい、豊橋を好きになってもらいたいというものと、豊橋地域外へ豊橋のよさをPRしたいという2つがあります。
功刀委員	シティプロモーション懇談会会長を務めたときに、豊橋市のブランド力は中核市41市中30位という報告を受けたと記憶している。平成23年度からスタートして今年で4年目となるわけだが、成果が出ているのか知りたい。

発言者	要 旨
シティプロモーション推進室長	平成19年度に行った知名度やブランド力に関する調査と同じものを昨年度実施し、今年度はその分析をしているところであります。
石原委員長	ありがとうございました。これまで4つのテーマについて説明していただきましたが、本番での順番について事務局より説明をお願いします。
事務局 (行政課長)	1番目を「広域連合」、2番目を「地域コミュニティによる健康づくりと地域包括ケア」、3番目を「ごみの減量化」、4番目を「CP」としたいと考えております。
石原委員長	事務局からの提案について、いかがでしょうか。
委員一同	異議なし。
石原委員長	本日の議事は以上になりますが、この他に何かご意見・ご質問等ありましたら、お願いします。特にないようですので、これで本日の外部検証委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。